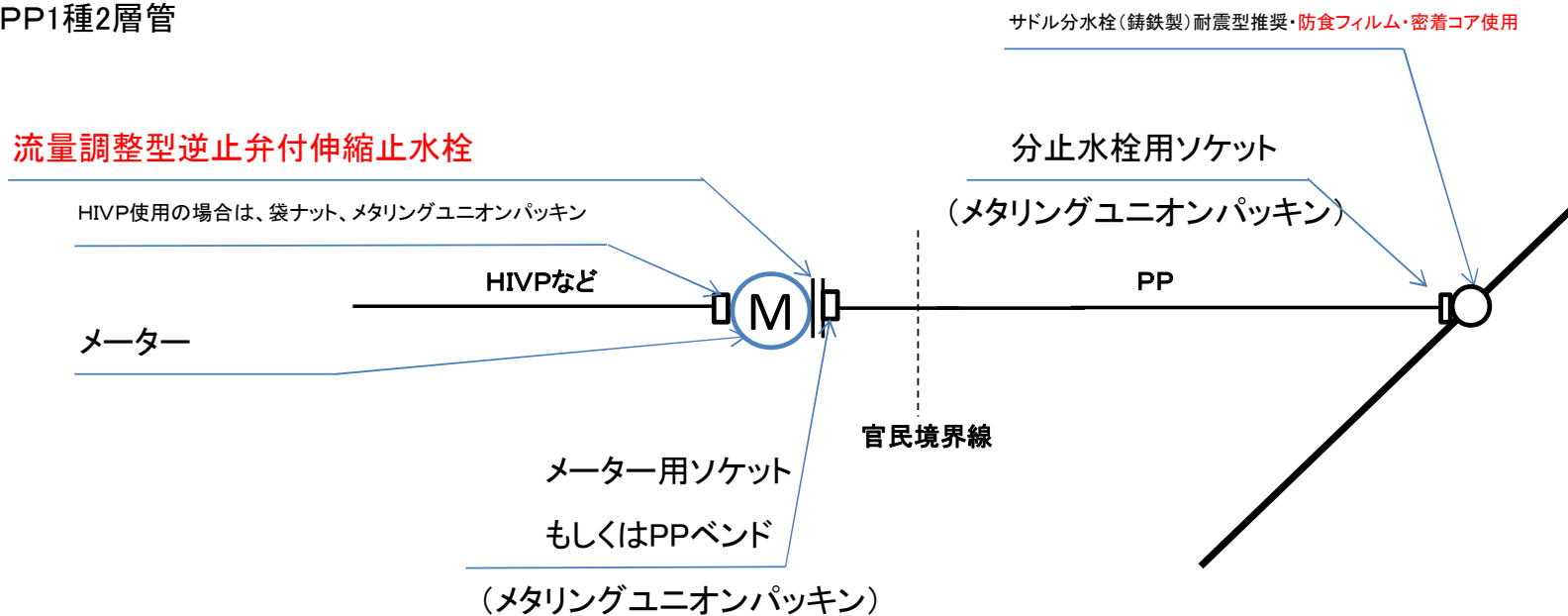


φ20～φ40 給水引込PP1種2層管



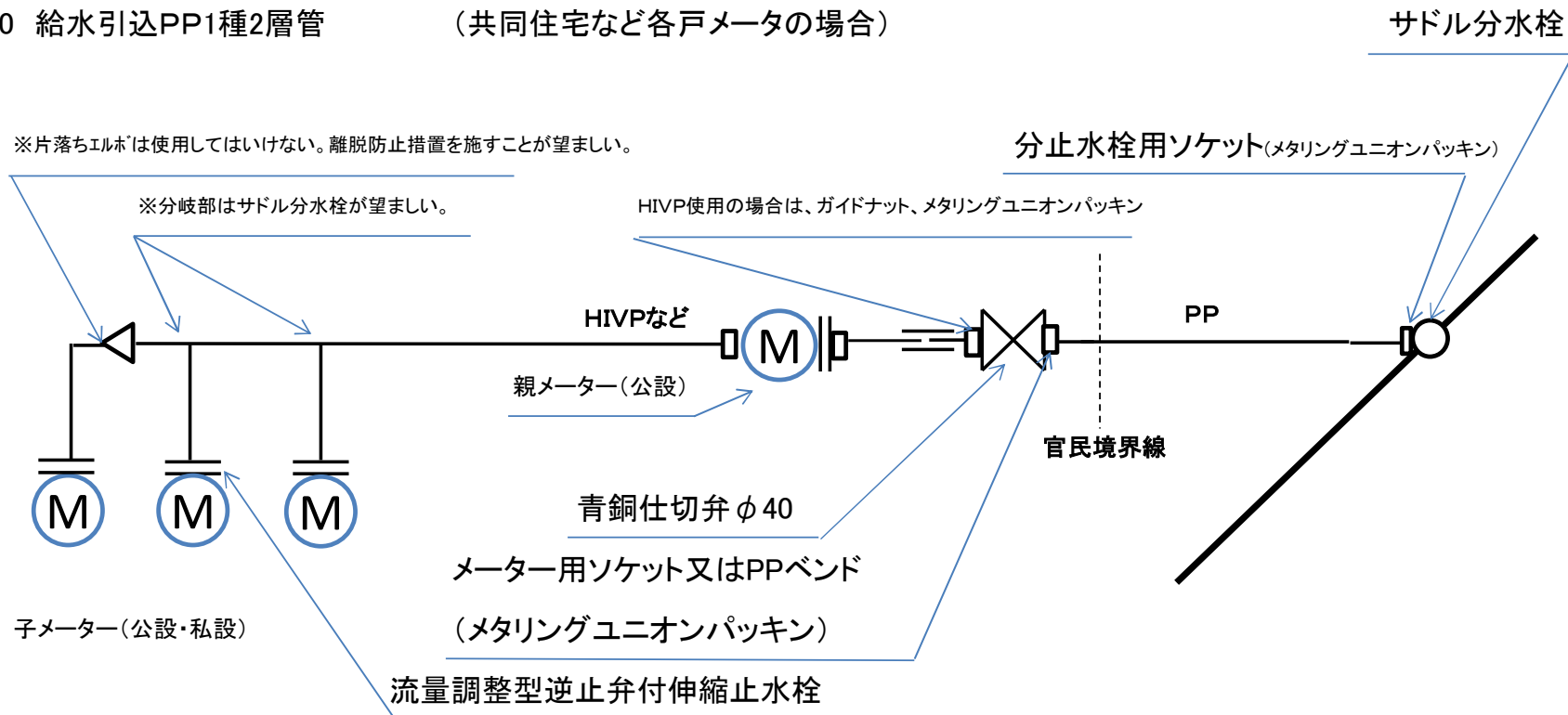
PPの許容曲げ範囲内で曲げ、許容範囲を確保できない場合は適宜エルボを使用すること。

余裕をもたせた蛇行配管しナイロンスリーブを被覆し、ロケーティングワイヤーをサドル分水栓から流量調整型逆止弁付伸縮止水栓まで設置すること。

メーター二次側の配管材料は自由(構造材質基準適合のこと)です。

φ40 給水引込PP1種2層管

(共同住宅など各戸メータの場合)



PPの許容曲げ範囲内で曲げ、許容範囲を確保できない場合は適宜エルボを使用すること。

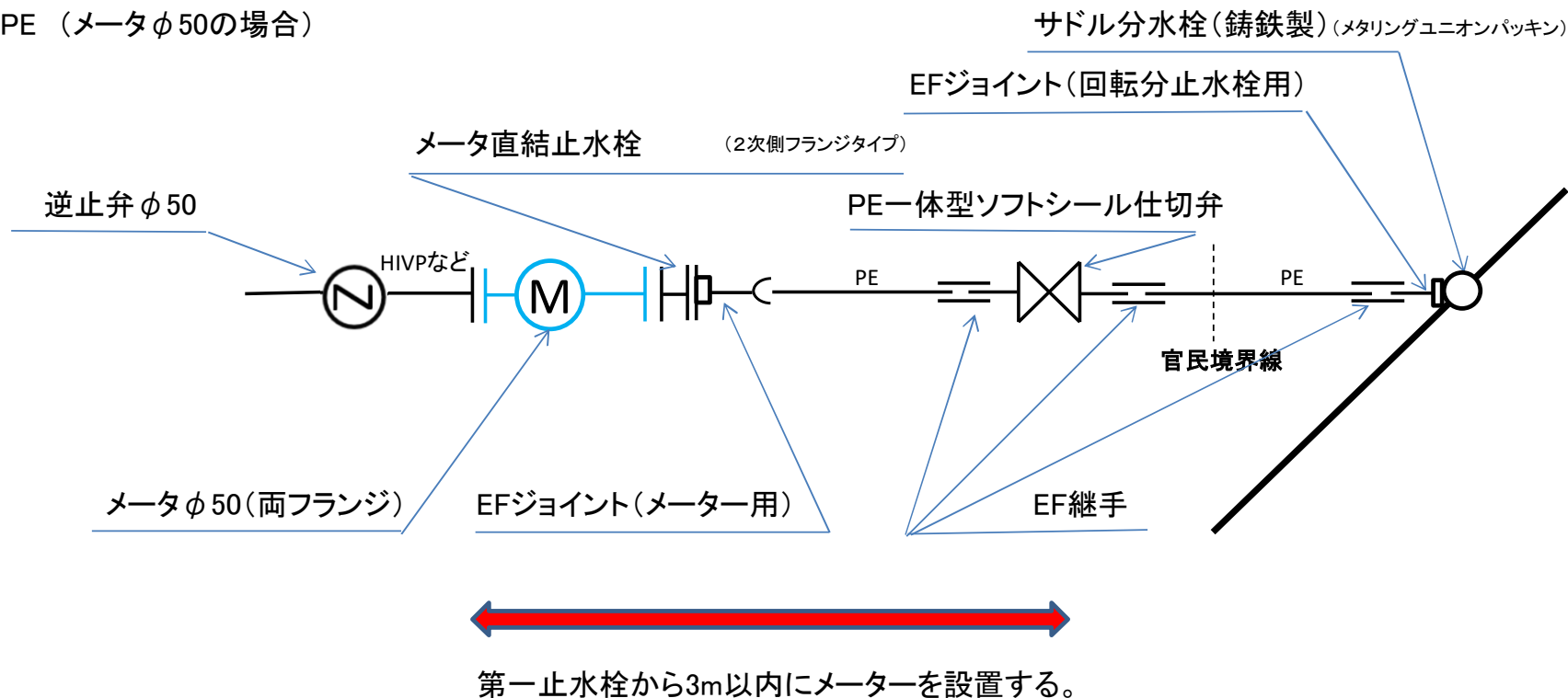
余裕をもたせた蛇行配管としナイロンスリーブを被覆し、ロケーティングワイヤーをサドル分水栓から青銅仕切弁まで設置すること。

第一止水栓以降の配管材料は自由(構造材質基準適合のこと)です。

仕切弁ボックスはレジンコンクリート製25型を使用してください(蓋は黒色)。

メーター1次側直結止水栓については流量調整型逆止弁付伸縮止水栓を使用するものとする。

φ50 給水引込PE（メータφ50の場合）



メーターまでの継手については、EF継手（融着）を使用してください。

ナイロンスリーブを被覆し、ロケーティングワイヤーをサドル分水栓からメーター直結止水栓まで設置すること。

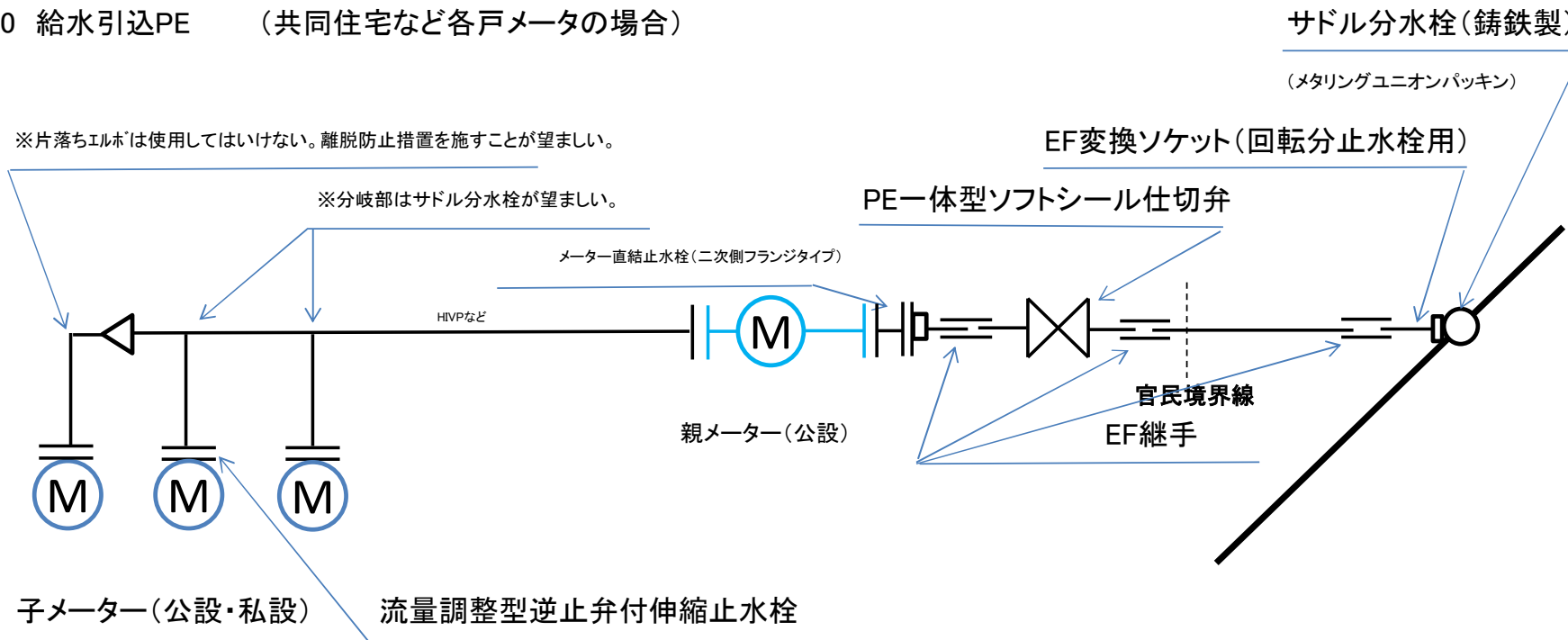
メーター二次側の配管材料は自由（構造材質基準適合のこと）です。

仕切弁ボックスはレジンコンクリート製25型を使用してください（蓋は青色）。逆止弁のBOXは、レジンコンクリート製20型以上を使用してください。

メーターBOXは、材質コンクリートブロック、現場打ちコンクリート、二次製品（レジンコンクリート）などを使用し、蓋は鋳鉄製とする。

メーターBOX内に、逆止弁を設置することもできる。

φ50 給水引込PE (共同住宅など各戸メータの場合)



第1止水栓(PE一体型ソフトシール仕切弁)までの継手については、EF継手(融着)を使用してください。

ナイロンスリーブを被覆しロケーティングワイヤーを設置すること。

第一止水以降の配管材料は自由(構造材質基準適合のこと)です。

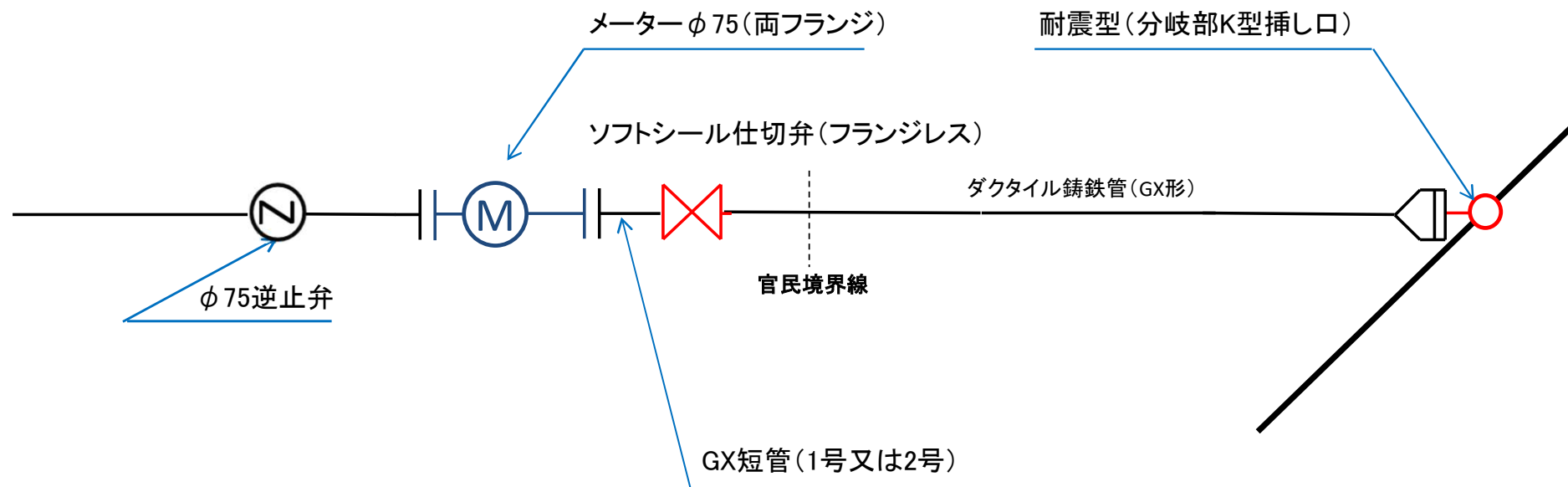
仕切弁ボックスはレジンコンクリート製25型を使用してください(蓋は青色)。

子メータ1次側直結止水栓については流量調整型逆止弁付伸縮止水栓を使用するものとする。

φ75～φ150 給水管引込 ダクタイル鋳鉄管GX型(配水管φ75～φ300)

不断水割丁字分岐 φ75以上

耐震型(分岐部K型挿し口)



第一止水栓から3m以内にメーターを設置する。

切管は、直管P-Link、異形管G-Linkを適宜使用してください。必ず管端防錆処理を施すこと。

ポリエチレンスリーブを被覆し、ロケーティングワイヤーを不断水分岐からメーター1次側フランジまで設置すること。

メーター二次側の仕切弁以降の配管材料は自由(構造材質基準適合のこと)です。

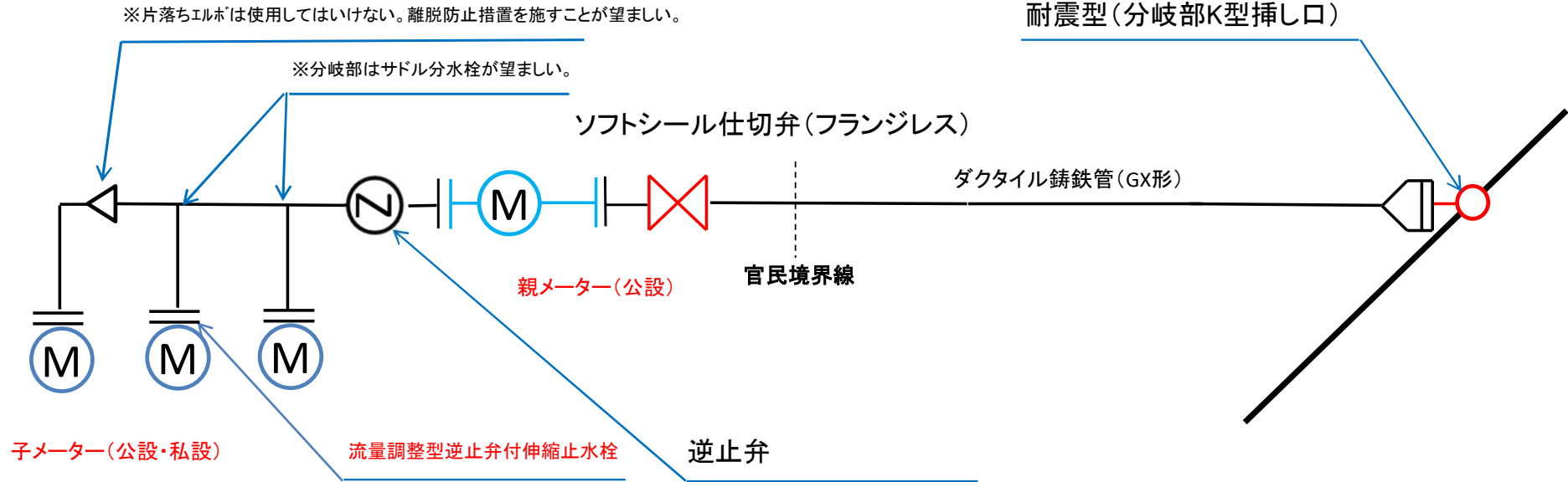
仕切弁ボックスはレジンコンクリート製25型(φ150以上は35型)を使用してください(蓋は青色)。逆止弁のBOXは、レジンコンクリート製20型以上を使用してください。

メーターBOXは、材質コンクリートブロック、現場打ちコンクリート、二次製品(レジンコンクリート)などを使用し、蓋は鋳鉄製とする。

メーターBOX内に、逆止弁を設置することもできる。

φ75～φ150 給水管引込 ダクタイル鋳鉄管GX型(配水管φ75～φ300)

不断水割丁字分岐 φ75以上
耐震型(分岐部K型挿し口)



切管は、直管P-Link、異形管G-Linkを適宜使用してください。必ず管端防錆処理を施すこと。

ポリエチレンスリーブを被覆し、ロケーティングワイヤーを不断水分岐からソフトシール弁まで設置すること。

第1止水以降の配管材料は自由(構造材質基準適合のこと)です。

仕切弁ボックスはレジンコンクリート製25型(φ150以上は35型)を使用してください(蓋は青色)。

子メーター1次側直結止水栓については流量調整型逆止弁付伸縮止水栓を使用するものとする。